

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	26 日	記入者	前田景子	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	願行寺庭園					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input checked="" type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
指定年月日	1955年(昭和30)4月7日					
所在地	吉野郡下市町下市2952					
所有者 管理者	願行寺					
員数						
時代区分	室町時代末期					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	大書院の廊下入口に奈良県の説明板が設置されている					
公開	9時から16時(拝観料@500円 要予約)					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ( )					
当面の課題	今年はコロナの影響でいつもの行事が変則で行われ、庭の掃除等の奉仕作業も同様に例年通りには出来ない為、寺の維持管理が大変である。					
今後の課題	拝観者が多いほど管理がしやすく、海に見立てた石や砂利にも手を入れる事が出来よう。非日常を求めて気持ちの一新、リフレッシュ等にたくさんの方に利用してほしい。					
その他 (由緒など)	蓮如が吉野地方の浄土真宗布教の拠点とし「下市御坊」と呼ばれる。筒井順慶の焼き討ちからの復興、修理が加えられてきた遺構は地域の遺産でもある。					
コメント	古刹には名園がある。寺と庭は切っても切れない関係で、この願行寺にも当てはまる。堂と堂を結ぶ廊下を歩き足裏に秋を感じ、通された庭に小宇宙を重ねてお庭を拝観すると目に見えぬありがたさを感じ、ゆったりとした気持ちになれるのは、この空間があればこそだ。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	26日	記入者	前田景子	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	願行寺庭園
------	-------

本堂と大書院との間に位置し室町末期の作	右の満天星つつじと左の紅葉は作庭以来のもの
---------------------	-----------------------



大書院上段の間 左の障子を開けると庭園を望む

手前の広がり海を現す



山門 裏山は薬草園でもあった

奈良県の説明板

